

| | | |
|-------------|---|-----------------|
| 氏名 (生年月日) | ひら い た ろう 平 井 太 郎 | (平成元年 8 月 15 日) |
| 本 籍 | 石 川 県 | |
| 学 位 の 種 類 | 博 士 (医 学) | |
| 学 位 記 番 号 | 甲 第 5 7 9 号 | |
| 学位授与の日付 | 令和 3 年 3 月 2 6 日 | |
| 学位授与の要件 | 学位規則第 4 条第 1 項該当 | |
| 学 位 論 文 題 目 | SGLT2 inhibitors in type 2 diabetic patients with renal function impairment slows the annual renal function decline, in a real clinical practice (実臨床下において、腎機能低下を有する 2 型糖尿病患者に対する SGLT2 阻害薬の追加投与は eGFR の年次低下速度を緩和する) | |
| 論 文 審 査 委 員 | 主 査 宮 澤 克 人 | |
| | 副 査 梶 波 康 二 | |
| | 古 市 賢 吾 | |

論文審査結果の要旨

2 型糖尿病患者において SGLT2 阻害薬が心血管イベントの発症・進展阻止ならびに腎保護効果を発揮することが複数の大規模ランダム化比較試験により示され、腎保護効果に関しては eGFR の低下速度を抑制されたことも報告されている。しかし、eGFR_{Cr} 60ml/min/1.73m² 未満の 2 型糖尿病患者における SGLT2 阻害薬追加投与の腎保護効果は明らかではない。本研究ではこれらの症例を対象として SGLT2 阻害薬の追加投与が腎機能に及ぼす影響について実臨床データを用いた線形混合モデルで検討し eGFR 年次低下速度を緩和することを明らかとした。また、CKD stage に応じたサブ解析でもその効果を証明した。さらにアルブミン尿変化量と eGFR slope 変化量との間に相関関係は認められず、SGLT2 阻害薬の腎保護効果はアルブミン尿減少と独立している可能性も示唆した。これらの知見は SGLT2 阻害薬が腎機能低下を有する 2 型糖尿病患者の慢性腎不全への進行を防止し生命予後改善や医療経済軽減につながることを示唆している。

また、審査員からの質問に関しても適切な回答であった。

以上により、本論文は博士(医学)の学位を授与するに値するものと認められる。

(主論文公表誌)

Journal of Diabetes Investigation, in Press